

1 はじめに

駒王中学校では、生徒が主体となって様々な学校行事や常置活動に取り組んでいる。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策をする中で、できることを模索しながら「飛躍 ～創造しよう新しい道、羽ばたこう新しい未来～」をスローガンのもと、生徒会を中心に様々な活動を実践してきた。

2 資料

(1) 朝のあいさつ運動

毎週月曜日の朝、昇降口階段の前に立ち、あいさつ運動を行っている。今年度から生徒会役員、新生徒会役員、各学級役員で実施をした。



(2) 茜祭・合唱コンクール

今年度は、3年振りに茜祭（文化祭）を実施することができた。新型コロナウイルス感染症対策を十分に取ながら有観客にて実施した。生徒会が主となり、各実行委員と連携を取りながら準備から運営までを行い、本番を成功に導いた。合唱コンクールは、今年度場所が市民会館に戻り、1年生、2年生、3年生の全校生徒が同じ会場で開催することができた。保護者に関しては、感染症対策のため入れ替えでの実施となった。開会式で流す諸注意やリーフレット、スローガン作成なども生徒が主となり行った。



(3) ルール検討会・中央委員会の実施

本校では、校則とは別に、生徒たちが自分たちの学校生活をよりよくしようという目的で、年度の終わりに生徒会、各学級会長、各委員会委員長が集まり「ルール検討会」を行っている。1・2年生は来年度の自分たちのために、3年生は後輩たちのために各クラスで積極的に話し合い活動を行い、その結果を中央委員会で集約し、全校生徒に確認している。



3 成果と課題

本校の取組として3つのことを紹介したが、生徒たちの自主性や自己有用感を高めるうえで、とても有効な取組であるといえる。

しかし、課題も多く残った。それは、活動時間の確保と生徒たちへの負担である。今年度はすべての行事を実施することができたが、特に文化祭準備期間は、帰りの会が終わってから完全下校までの時間が短かったのもあり、活動が制限されてしまった。そのため、準備が計画度どおりにいかない係もあった。計画的な取組と時間確保の面で、指導者側のサポートが重要になっている。